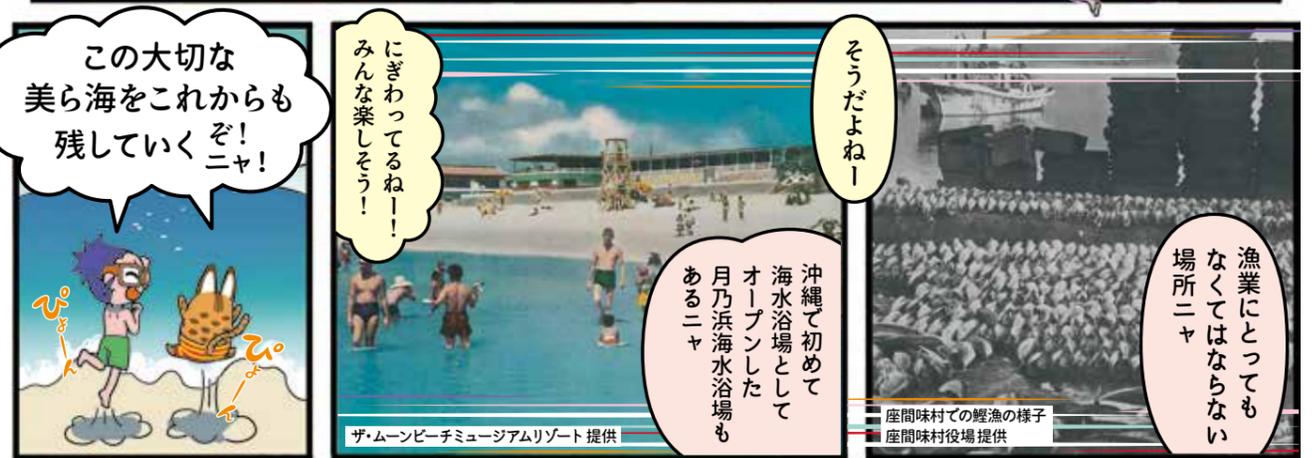


ハイウ
タマ

イリオモテヤマネコ。特殊な機器を取り付けると、なんでもタイムマシンに変えられる。

小学4年生。平和主義者。パイン好き。

★海で過ごすのが気持ちいい季節です！海風に吹かれながら何をしましょうか。



かつての海の役割はどんなものだった?

海に囲まれた島である沖縄は、琉球王国時代、発展するための糸口は交易にあると考えたことから港が開かれ、諸外国との取引が始まりました。王国の玄関口として開かれた那覇港には海を越えて貴重なものがたくさん運ばれ、それと同時に人の行き来も頻繁になり、さまざまな学問の知識ももたらされ、琉球を大きく発展させることにつながりました。

また、海は人々の生活を直接的に支える場でもありました。人々は海で獲れた貝や魚を食べ、それは後に漁業へと発展し、一大産業になりました。海は沖縄に豊かさをもたらすとともに、いつの時代も発展の可能性を示してくれます。

沖縄で初めての海水浴場はどこ?

今では県内の各所にある海水浴場ですが、沖縄で初めて海水浴場としてオープンしたのは、1957年。現在はザ・ムーンビーチミュージアムリゾートがある恩納村の「月乃浜海水浴場」でした。白く輝く三日月型の美しいビーチは、米軍パイロットの間では「ムーンビーチ」と呼ばれ、戦後になると、米軍関係者でとても賑わっていたといえます。

美ら海を守るための活動を教えて

沖縄の海を守るために、県内ではビーチクリーン活動が各地で行われています。その活動を推進する団体の一つに、沖縄クリーンコーストネットワーク(OC CN)があります。行政やボランティア団体、マリネジャー団体、個人を問わず、沖縄の豊かな自然を守りたいと願う人々が集まったネットワークで、情報を共有しながら効果的に海岸清掃活動を行っています。日本一早い海開きに合わせてビーチクリーン活動にも参加して、美ら海を保ちましょう。

今月のピックアップ

「3月5日はサンゴの日」

3(サン)5(ゴ)の語呂合わせと、サンゴの宝石であるコーラルが3月の誕生石として知られていることから、(公財)世界自然保護基金(WWF)により制定。この日の前後は「サンゴ礁ウィーク」としてイベントも開催。海開きシーズンも始まります。



琉球船の図 (沖縄県立博物館・美術館所蔵)

魚売りの様子 (1971年/前川篤撮影 那覇市歴史博物館 提供)



沖繩の海は本当に偉大なニャ



月乃浜海水浴場から、後のムーンビーチへと建設工事を進める様子 (ザ・ムーンビーチミュージアムリゾート提供)



中城村吉の浦公園ビーチでの清掃活動の様子 (OC CN 提供)

ビーチクリーン活動に僕も参加したいな!



OC CNウェブサイト